



わくわく 田原っ子 Part II

令和5年度 学校地域教育目標

やさしく、かしこく、たくましい「山坂達者な田原っ子」の育成

～心豊かでたくましく、自ら考え主体的に行動する子どもを育てる～

学校スローガン ◎自他を大切にしよう ◎考え進んでやってみよう ◎最後までがんばろう

11月は心かがやけ月間 (あいさつについて考えました)



11月も終わりになりますが、今月は「心かがやけ月間」です。「心かがやけ月間」とは、道徳教育を日常生活や行事、体験活動、委員会活動等と関連させて重点的に取り組んだり、保護者や地域と連携した取り組みを行ったりして道徳教育の充実を図り、児童の意識化や道徳的実践力を高めることを目的とされ、熊本市が一斉に取り組んでいます。田原小では、各委員会活動やあいさつ運動、学級での取組、親子道徳などに取り組んでいます。1日(水)には、全校集会で「あいさつ」について子どもたちに考えてもらいました。あいさつについては、集会でも学級でもよく話す内容ではありますが、よくできる時とできない時と波がありますので、再度、考えてもらいました。

以下 校長講話一部抜粋

「心かがやけ月間」とは、「やさしい気持ち」や「感謝の気持ち」「決まりを守るなどの正しい心」そして、あいさつなど心を豊かにする面を伸ばす月です。9月の集会で「あいさつ」について話しました。あいさつ名人になるために、①自分から②相手の目を見て③笑顔で④伝わるように声の大きさを考えて この4つのことをやってみよう！と話しました。皆さんはどのくらいできていますか？あいさつは、心と心がつながる魔法の言葉です。心に花を咲かせてくれます。 ……中略…(ディズニーリゾートの写真を見せました)

アトラクションやパレードが楽しいところですが、雰囲気自体も楽しいところ。そういう気持ちになるのは、そこで働く人たちがいつも笑顔で、気持ちよく、お客さんと話をしてくれるのです。ディズニーリゾートのあいさつには「いらっしゃいませ」がありません。そのかわりに「こんにちは」とあいさつされます。他のお店だと「いらっしゃいませ」が普通ですね。 ……略…

ディズニーリゾートが日本に上陸した当初は、会社の決まりでは、お客様に対して「いらっしゃいませ」というあいさつをするように決められていたそうです。しかし、それに待った！をかけた社員がおられたそうです。「親しみがわからないから、いらっしゃいませ は、やめましょう。」

とその社員は言いました。また、「いらっしゃいませ」は一方通行のあいさつであり、必ずしも返事が必要な挨拶ではありません。親近感をわかせるには、お互いがコミュニケーションをとることができる「返事のあるあいさつ」であることが必要なのです。このことで、ディズニーリゾートでは「こんにちは」を使うようになったそうです。実際、「こんにちは」というあいさつをすると、お客さんも「こんにちは」というあいさつを返してくれたそうです。「こんにちは」と投げたボールをお客さんからも「こんにちは」と投げ返す。するとコミュニケーションが始まります。投げ返してもらえたら相手の気持ちが分かり、相手の人と親しくなれます。親しくなることで、お客さんに何をしなければいけないかがわかってきたということでした。ですから自分から先にあいさつすることを心がけているそうです。お客さんを幸せにしたいという気持ちがいっぱいあるのでしょうね。 ……略…「おはようございます」「こんにちは」という言葉の魔法をかけると、相手の方の心に花が咲き、あいさつを返された自分の心にも花が咲きます。皆さんも、相手を思う「思いやりの心」をもって、心にきれいな花を咲かせてください。11月も思いやりの心で笑顔の田原小学校にしましょう。

以上

先日、植木町にある「リバテープ製薬」の社長さんの話を聞く機会がありました。西南戦争がきっかけで起業された会社ですが、小中学校で育ててほしいこととして①表現力②コミュニケーション力③創造力 の3つをあげられました。②コミュニケーション力にも入りますが、「一番大事！」とおっしゃったことは、「あいさつ」です。「どんな場面でも、元気よくあいさつ、返事ができること。これが一番大事です。」と声を大にしておっしゃいました。子どもたちも、明るいあいさつを校内だけではなく、地域でも頑張ってもらいたいです。